

## 工事の必要性と工事内容

1968年に開通した東名多摩川橋。

開通から50年余りが経過し、大型車の交通量も多いため、老朽化が進んでいます。これまで、部分的な補修や補強を繰り返してきましたが、橋梁構造体の損傷が進み、床版（橋の床部分）下面のコンクリートの剥離や、それに伴う内部鉄筋の露出・腐食などが確認されており、抜本的な対策として、床版の取り替えが必要です。



床版の損傷状況

東名多摩川橋

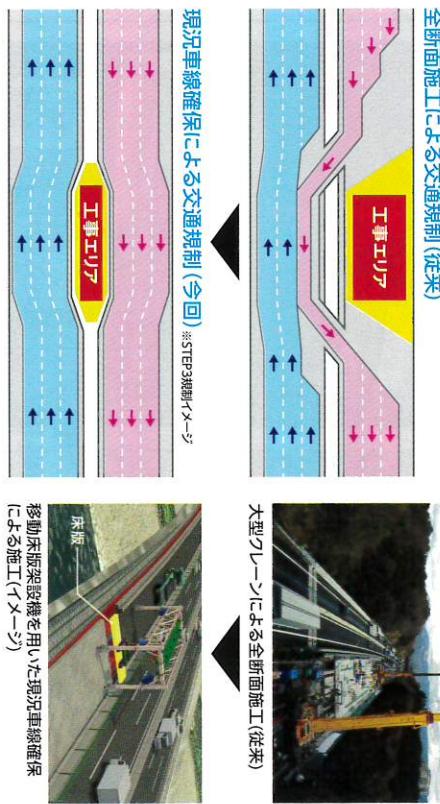


内部鉄筋の露出

## お客さまへのご迷惑を最小限とするための工夫

### 交通規制計画の工夫

東名川崎IC～東京ICは、交通量が10万台/日を超える重交通区間です。これまでのリニューアル工事のように、車線数を減少させて工事をおこなった場合、大規模な渋滞が懸念されます。そこで、今回のリニューアル工事は、最新の工法により床版を分割して取り替えることで、車線数を極力減らさず、6車線を確保しながら工事をおこないます。（一部期間で夜間に5車線になることがございます）分割して施工するため、工事期間は長くなりますが、車線数の確保が可能となり、渋滞など交通への影響を最小限にします。

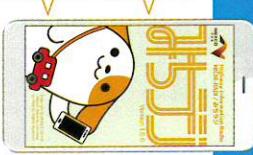


## 「みちラジ」による交通情報

高速道路の渋滞・事故・通行止めや所要時間  
情報などを、走行中のお客さまの位置情報を  
もとに、スマートフォンのお音声で「みちラジ」通知  
によりお知らせする機能

※「みちラジ」とは、機器を操作することなくアプリが自動的に  
お知らせする機能

※詳しくは「みちラジ」で検索  
※詳しい説明は、次のリンクからご覧ください。



## SNS情報

工事や交通状況などの情報を発信!  
NEXCO中日本東京支社のSNSはこちら



## 電話でのお問い合わせ

日本道路交通情報センター  
（NEXCO中日本お客さまセンター）



24時間年中無休  
●上記電話をご利用になれぬ場合は052-223-0333（通話料無料）  
●交通事故の通報は警察(110番)へ



E1 東名などNEXCO中日本管内の路線  
※詳しくは「みちラジ」で検索

